

高校生に大学の授業を体験してもらうコラボレーション講座、第8回講義が行われました。

1限目は、成瀬 雄一 先生(武蔵野短期大学 教授)の「高校生のための行動分析学入門」でした。基礎的知識から様々な理論の特徴と問題点までを紹介することで心理学とは何かについて講義しました。その後、行動分析学の観点から「特定の料理が食べたくなる理由」や「宿題をやるための動機づけ」など日常生活の身近な事例について一緒に考えました。



2限目は、原田 早春 先生(武蔵野学院大学 助教)の「ろう文化入門」でした。ドラマやアニメの登場人物を事例に、聴覚障害にも難聴と中途失聴があること、手話にも日本手話と日本語対応手話があることについて講義が行われました。講義の後半では音声認識ソフトや補聴器・人工内耳について解説し、インクルーシブ教育が推奨される教育現場における今後の課題が示されました。



2限目終了後に、今年度の閉講式を行われ、出席状況が良好な参加者には修了証が配られました。





今年度のコラボレーション講座は今回にて終了となります。
ご興味がありましたら、次年度の講座へのご参加をご検討ください。
コラボレーション講座についてはこちらのページをご覧ください。